

大原テクノデザインアート専門学校 情報提供資料

専門学校等における情報提供等への取組みに関するガイドラインに基づき、大原テクノデザインアート専門学校の情報を以下のとおり提供致します。

1. 学校の概要、目標および計画

(1) 概要

【学園名称】 学校法人 大原学園 理事長 中川 和久

【学校名称】 大原テクノデザインアート専門学校 校長 赤星 哲志

【所在地】 ①学園本部 〒101-8352 東京都千代田区西神田1丁目2番10号 TEL 03-3292-6266

②学校 〒910-0005 福井県福井市大手2丁目9番1号 TEL 0776-21-0001

【創立】 1957年東京水道橋に大原簿記学校を開校し、1979年に学校法人大原学園を設立。

【設置校等】 グループ校総数 109校 (2019年4月1日現在)

①大原学園設置校[81校] 教職員総数 1,785名

■北海道 4校

札幌 大原簿記情報専門学校札幌校
札幌 大原医療福祉専門学校
札幌 大原法律公務員専門学校
函館 大原簿記公務員情報医療専門学校函館校

■東北 4校

盛岡 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校
盛岡 大原スポーツ公務員専門学校盛岡校
山形 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校
山形 大原スポーツ公務員専門学校山形校

■関東 30校

水道橋 大原大学院大学(会計専門職大学院)
水道橋 大原学園高等学校(通信制・通学型高校)
府中 府中ひばり幼稚園(年少・年中・年長)
船堀 大原日本語学院(日本語学校)
水道橋 大原簿記学校
水道橋 東京ホテル・トラベル学院専門学校
水道橋 東京情報クリエイター工学院専門学校
水道橋 大原医療秘書福祉保育専門学校
水道橋 大原法律専門学校
水道橋 東京アニメーター学院専門学校
池袋 大原情報ビジネス専門学校
立川 大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校
町田 大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校
横浜 大原簿記情報ビジネス専門学校横浜校
横浜 大原医療秘書福祉保育専門学校横浜校
横浜 大原法律公務員専門学校横浜校
千葉 大原簿記公務員専門学校千葉校
千葉 大原医療秘書福祉専門学校千葉校

■北陸 8校

福井 大原簿記法律専門学校福井校
福井 大原テクノデザインアート専門学校
福井 大原スポーツ医療保育福祉専門学校
福井 福井ペット&旅行ホテル専門学校
金沢 大原簿記法律観光専門学校金沢校
金沢 大原情報デザインアート専門学校金沢校
金沢 金沢ウエディング・ビューティー専門学校
金沢 大原医療福祉・製菓&スポーツ専門学校

■関西 17校

新大阪 大原簿記専門学校大阪校
新大阪 大原法律公務員&スポーツ専門学校大阪校
新大阪 大阪保育こども教育専門学校
新大阪 大阪歯科衛生学院専門学校
難波 大原簿記法律専門学校難波校
難波 大原情報デザインアート専門学校
難波 大原スポーツ&メディカルヘルス専門学校難波校
難波 大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校
梅田 大原簿記法律専門学校梅田校
梅田 大原医療福祉製菓専門学校梅田校
神戸 大原簿記専門学校神戸校
京都 大原簿記法律専門学校京都校
京都 大原スポーツ&メディカル専門学校京都校
和歌山 大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校
和歌山 大原情報医療保育専門学校和歌山校
姫路 大原簿記情報法律専門学校姫路校
姫路 大原医療福祉&スポーツ保育専門学校姫路校

■山陽

岡山 大原ビジネス公務員専門学校岡山校*

津田沼 大原簿記公務員医療情報ビジネス専門学校津田沼校
 柏 大原簿記法律専門学校柏校
 大 宮 大原簿記情報ビジネス専門学校大宮校
 大 宮 大原医療秘書福祉専門学校大宮校
 大 宮 大原こども専門学校
 大 宮 大原法律公務員専門学校大宮校
 水 戸 大原簿記情報公務員専門学校水戸校
 水 戸 大原医療福祉専門学校水戸校
 宇都宮 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校宇都宮校
 宇都宮 大原スポーツ公務員専門学校宇都宮校
 高 崎 大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校
 高 崎 大原スポーツ公務員専門学校高崎校

■甲信越 6校

甲 府 大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校甲府校
 甲 府 大原スポーツ公務員専門学校甲府校
 長 野 大原簿記情報ビジネス医療専門学校
 長 野 大原スポーツ公務員専門学校
 松 本 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校松本校
 松 本 大原スポーツ公務員専門学校松本校

岡 山 岡山情報ITクリエイター専門学校*

■九州 11校

福 岡 大原簿記情報専門学校福岡校
 福 岡 大原スポーツ公務員専門学校福岡校
 福 岡 大原保育医療福祉専門学校福岡校
 小 倉 大原簿記公務員専門学校小倉校
 小 倉 大原医療福祉製菓専門学校小倉校
 八 幡 専門学校大原自動車工科大学校
 大 分 大原簿記公務員専門学校大分校
 大 分 大原医療介護福祉専門学校大分校
 大 分 大原自動車工科専門学校大分校
 熊 本 大原簿記情報専門学校熊本校
 熊 本 大原スポーツ公務員専門学校熊本校
 熊 本 大原保育医療福祉専門学校熊本校

* 2020年4月開校予定 認可申請中

②大原グループ関連校（28校）

■東北 3校

仙 台 仙台大原簿記情報公務員専門学校
 仙 台 仙台大原公務員ゼミナール
 仙 台 仙台大原ライセンススクール

■関東 4校

水道橋 大原予備校
 早稲田 資格の大原 早稲田校
 新 宿 資格の大原 新宿校
 日 吉 資格の大原 日吉校

■甲信越 2校

新 潟 大原簿記公務員専門学校新潟校
 新 潟 大原医療秘書専門学校新潟校

■北 陸 1校

富 山 富山大原簿記公務員医療専門学校

■東 海 15校

静 岡 大原簿記情報医療専門学校静岡校
 静 岡 大原法律公務員専門学校静岡校
 静 岡 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校静岡校
 浜 松 大原簿記情報医療専門学校浜松校
 浜 松 大原法律公務員専門学校浜松校
 浜 松 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校
 沼 津 大原公務員医療観光専門学校沼津校
 沼 津 大原介護福祉専門学校沼津校
 名古屋 大原簿記情報医療専門学校
 名古屋 大原法律公務員専門学校
 名古屋 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
 岐 阜 大原簿記医療観光専門学校岐阜校
 岐 阜 大原法律公務員専門学校岐阜校
 津 大原簿記医療観光専門学校津校
 津 大原法律公務員専門学校津校

■四 国 1校

松 山 大原簿記公務員専門学校愛媛校

■九州・沖縄 2校

宮 崎 大原簿記公務員専門学校宮崎校
 那 覇 沖縄大原簿記公務員専門学校

③大原グループ研修所（3ヶ所）

川崎 大原学園登戸研修所 菅平 大原菅平ビガークラブ 富士宮 大原富士宮ビガークラブ

(2) 教育方針「専門課程（高卒・短大卒・四大卒対象）」

- 校訓 『感奮興起』 感動は感謝を育み、奮闘は成功の一步となる。興味は才能を開花させ、起動で人は自立する。
- 目的 『簿記、税務、情報処理、法律、行政、医療、保育、福祉、スポーツ、製菓、美容、歯科衛生、自動車整備並びにこれらのビジネス等に関わる教育及び人格の陶冶を行い、有為な産業人を育成する』ことを目的としています。
- 教育ストーリー

大原学園では、入学から卒業までの全期間をもって完結する1つのストーリーと考え、教育プログラムを三段階（四期）に分けて構成しております。

 - ★第一段階『成功体験期』

初めて専門教育を受ける学生が、卒業までの学習を続けられる自信をつける期間であり、各コースでの短期目標を達成することで「やればできる」という成功体験を、身をもって知り、次のステップに向けてのモチベーションを高める期間となります。
 - ★第二段階前期『専門学習期』

成功体験期で学習内容を絞り込んだ学習から、資格難易度の高度化、学習科目の多科目化、より実践に近い技術の習得など、コースの特色に合わせた本格的な学習を通して、高度な知識の定着と技術の習得を目的とする期間となります。
 - ★第二段階後期『実践期』

専門学習期までに身につけた高度な知識や技術を実践に結びつける期間であり、最新実務の知識や技術を学び、実践的な学習や演習、校外実習、インターンシップ等を通じて、目標としている就職先で必要となる実践力を身につける期間となります。
 - ★第三段階『入社準備（PCP）期』

専門性の総まとめを行い、即戦力として活躍できるように最終仕上げを行う期間であり、これにより高い実践力に磨き上げて、入社後にスムーズなスタートを切れるよう教育を行う期間となります。

(3) 沿革

| | | | |
|---------------|---------------------|---------------|------------------|
| 1957(昭和 32 年) | 各種学校・大原簿記学校を創立 | 2005(平成 17 年) | 立川校 |
| 1976(昭和 51 年) | 専修学校・大原簿記学校に組織変更 | 2006(平成 18 年) | 大原大学院大学を開学 |
| 1979(昭和 54 年) | 準学校法人・大原学園に組織変更 | | 医療秘書福祉大宮校 |
| 1981(昭和 56 年) | 大阪校を開校（以下「開校」を略する。） | | 保育医療福祉福岡校 |
| 1982(昭和 57 年) | 学校法人・大原学園に組織変更 | 2007(平成 19 年) | 医療秘書福祉保育横浜校 |
| | 府中ひばり幼稚園を開園 | | 福井校 |
| 1985(昭和 60 年) | 横浜校 | 2009(平成 21 年) | 大原学園高等学校 |
| 1987(昭和 62 年) | 札幌校 | | 千葉校 |
| 1989(平成元年) | 池袋校 | | 長野校(菅平校移転) |
| 1990(平成 2 年) | 菅平校 | | 大阪歯科衛生学院 |
| | 福岡校 | | スポーツ&メディカルヘルス難波校 |
| 1991(平成 3 年) | 津田沼校 | | スポーツ&メディカル京都校 |
| | 大宮校 | | 和歌山校 |
| 1995(平成 7 年) | 法律東京校 | 2010(平成 22 年) | 函館校 |
| 1996(平成 8 年) | 柏校 | 2011(平成 23 年) | 高崎校 |
| 1997(平成 9 年) | 町田校 | | 金沢校 |
| | 法律公務員大宮校 | 2012(平成 24 年) | 宇都宮校 |
| 1998(平成 10 年) | 法律公務員&スポーツ大阪校 | 2013(平成 25 年) | 水戸校 |
| 1999(平成 11 年) | 医療福祉札幌校 | | 八幡校 |
| | 法律公務員横浜校 | 2014(平成 26 年) | 大分校 |
| 2001(平成 13 年) | 大阪保育こども教育校 | 2015(平成 27 年) | 盛岡校 |
| | 神戸校 | | 松本校 |
| 2002(平成 14 年) | 法律公務員札幌校 | | 姫路校 |

| | | | |
|---------------|--------------|---------------|-------------|
| 2003(平成 15 年) | 医療秘書福祉保育東京校 | 2016(平成 28 年) | 甲府校 |
| | 京都校 | | 熊本校 |
| | スポーツ公務員福岡校 | 2017(平成 29 年) | 山形校 |
| | 簿記公務員小倉校 | | 東京ホテル・トラベル校 |
| 2004(平成 16 年) | 大原日本語学院 | 2019(平成 31 年) | 東京アニメ校 |
| | 簿記法律難波校 | | 東京情報校 |
| | 情報デザインアート難波校 | 自動車大分校 | |
| | 梅田校 | | |
| | 医療福祉製菓梅田校 | | |

2. 各学科の教育

(1) 入学定員

| 学科名 | 入学定員 | 総定員 |
|--------------------|-------|-------|
| 高度情報技術科 (4 年制) | 20 名 | 80 名 |
| システム工学科 (3 年制) | 30 名 | 90 名 |
| 情報処理科 (2 年制) | 30 名 | 60 名 |
| グラフィックデザイン科 (2 年制) | 30 名 | 60 名 |
| 合計 | 110 名 | 290 名 |

(2) 受入方針

■入学資格

本校の入学資格は、次のとおりとします。

- ① 高等学校卒業生
- ② 文部科学大臣の認めるところにより、高等学校卒業生と同等以上の学力があると認められた者

■入学時期

本校の入学時期は、学年の始めとします。

■入学手続・許可

本校の入学手続は、次のとおりとします。

- ① 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書必要事項を記載して、所定の入学選考料を添えて指定期日までに出席しなければならない。
- ② 前号の手続を終了した者に対して入学試験を行い、入学者を決定する。
- ③ 本校に入学を許可された者は、入学許可の日から 2 週間以内に所定の入学金等を添え、入学手続をとらなければならない。

(3) カリキュラム

- ① 高度情報技術科 (4 年制)
総履修時間 3,910 時間(1 年次 1,040 時間 2 年次 960 時間 3 年次 950 時間 4 年次 950 時間)
- ② システム工学科 (3 年制)
総履修時間 2,950 時間 (1 年次 1,040 時間 2 年次 960 時間 3 年次 950 時間)
- ③ 情報処理科 (2 年制)
総履修時間 1,990 時間 (1 年次 1,040 時間 2 年次 950 時間)
- ④ グラフィックデザイン科 (2 年制)
総履修時間 1,990 時間 (1 年次 1,040 時間 2 年次 950 時間)

(4) 進級、卒業要件等

本校に在学し、下記に定める授業時数以上履修し、かつ、その該当する授業科目の成績評価に基づき課程を修了したと認めた者には卒業証書を授与します。

| | | |
|---------------|-------|---------|
| ① 高度情報技術科 | (4年制) | 3,910時間 |
| ② システム工学科 | (3年制) | 2,950時間 |
| ③ 情報処理科 | (2年制) | 1,990時間 |
| ④ グラフィックデザイン科 | (2年制) | 1,990時間 |

※成績評価

学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、レポートの内容、出席状況、授業態度等を総合的に勘案して行います。

(5) 専門士・高度専門士の称号付与

- ① 情報処理科、グラフィックデザイン科を修了した者には「専門士（商業実務専門課程）」の称号が付与されます。
- ② システム工学科を修了した者には「専門士（工業専門課程）」の称号が付与されます。
- ③ 高度情報技術科を修了した者には「高度専門士（工業専門課程）」の称号が付与されます。

(6) 目標とする国家試験、検定試験等

情報系試験：基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ITパスポート、MOSなど

(7) 主たる国家試験、検定試験等の合格実績（2018年度学園実績）

情報系試験：基本情報技術者試験 213名、応用情報技術者 19名
ITパスポート 153名、MOS 3,355名（述べ）

(8) 卒業生の進路（2019年3月卒業生学園実績）

- ① 全国専門課程就職率 99.2%（就職希望者5,641名中5,601名）
- ② 福井校専門課程就職率 100.0%（就職希望者161名中161名）
- ③ 主な就職先

(株)IHI、宇宙航空研究開発機構、キヤノン(株)、日本放送協会、(株)富士ソフト、(株)小松製作所
山崎製パン(株)、

(株)アートテクノロジー、(株)永和システムマネジメント、(株)ビジュアルソフト、パワーシステム
(株)ALL CONNECT、(株)エル・ローズ、(株)PLANT、(株)ほくつう、(株)ホーコーズ、(株)システナ
ユニフォームネクスト(株)、ゲンキー(株)、(株)相互移動通信、CTC マネジメント(株)

他多数の優良企業に内定。

3. 教職員

(1) 教職員数

学則に規定する下記の教職員が在席しています。

校長 1名 教員 10名以上 講師必要に応じて置く 助手必要に応じて置く
事務職員 2名以上

(2) 教職員の専門性

- ① 保有資格：基本情報技術者試験または同等以上の資格を有する。
- ② 教員研修：企業等と連携し以下の教員研修を実施して、教員の専門性を維持向上させている。
 - (ア) 専門知識 プログラミング、ネットワーク技術、システム開発
 - (イ) 指導力 講義力研修

4. キャリア教育・実践的職業教育

(1) キャリア教育

大原学園では学生一人ひとりの「幸せな就職」をテーマに、就職後に即戦力として活躍するためのキャリア教育を入学時のカリキュラムに取り入れ実践しています。主なものは以下のとおりです。

- ① 入学時：就職ガイダンス（将来の目標確認）
- ② 1年生4月～7月：就職の心構え、自己分析、SPIP-3対策テスト（MSR-P I・II）
- ③ 1年生8月～12月：自己分析、自己PR作成、面接練習、業界研修・企業研究
- ④ 1年生1月～3月：学内企業セミナー、業界研修・企業研究
- ⑤ 2年生4月～8月：学生個人の特性を考慮した就職求人紹介
- ⑥ 2年生9月～1月：P-C-P（プレ・キャリア・プログラム）教育

(2) 実習・実技等

大原学園では実習、実技に注力し、実践的な教育カリキュラム編成を行なっています。様々な実習実技がありますが特に以下の実習では、カリキュラム編成、実習運営、成績評価について、企業と連携した実践的な講義内容となっています。

| 授業科目 | 対象 | 年次 | 履修時間 | 連携企業 |
|---------------|-------------|-----|-------|--------------------|
| 職業実践演習（情報処理） | 高度情報技術科 | 4年次 | 270時間 | ジャパンシステム株式会社 |
| 職業実践演習（経理事務） | 高度情報技術科 | 4年次 | 270時間 | 山口一雄税理士事務所 |
| 職業実践演習（販売管理） | 高度情報技術科 | 4年次 | 270時間 | イオンテール株式会社 |
| 職業実践演習（情報処理） | システム工学科 | 3年次 | 270時間 | ジャパンシステム株式会社 |
| 職業実践演習（経理事務） | システム工学科 | 3年次 | 270時間 | 山口一雄税理士事務所 |
| 職業実践演習（販売管理） | システム工学科 | 3年次 | 270時間 | イオンテール株式会社 |
| 職業実践演習（情報処理） | 情報処理科 | 2年次 | 270時間 | ジャパンシステム株式会社 |
| 職業実践演習（経理事務） | 情報処理科 | 2年次 | 270時間 | 山口一雄税理士事務所 |
| 職業実践演習（販売管理） | 情報処理科 | 2年次 | 270時間 | イオンテール株式会社 |
| マルチメディアタイトル実習 | グラフィックデザイン科 | 2年次 | 120時間 | ミーツ・コミュニケーション・デザイン |
| マルチメディアタイトル実習 | システム工学科 | 3年次 | 120時間 | ミーツ・コミュニケーション・デザイン |

(3) 就職支援等

大原学園では学生の就職活動が円滑に進むように、多くの企業と連携して学内イベント等を開催しています。また、学生が不安なく就職活動に臨めるように、担任が準備から実際の活動まで様々なサポートを行います。

- ① 企業等と連携した支援
 - (ア) スーツセミナー
 - (イ) 学内企業セミナー
 - (ウ) 学内採用説明会・採用試験

② 担任による就職支援

- (ア) 自己分析面談、自己 PR 作成支援
- (イ) 求人紹介
- (ウ) 志望企業研究支援

5. 様々な教育活動、教育環境

大原学園では資格取得教育のみならず、多彩な学校行事や課外活動を通じて学生のコミュニケーション能力、企画力、実行力等の社会適応能力の育成に注力しています。

(1) 学校行事

- 4月・・・入学式、オリエンテーション（1年生対象）
- 6月～9月・・・リフレッシュ研修（1年生対象）
- 10月・・・スポーツフェスティバル
- 11月・・・AOCC電卓競技大会、スポーツチャンピオンズカップ
- 12月・・・海外研修
- 1月・・・合格祝賀会
- 3月・・・卒業式、卒業記念パーティー（卒業生対象）

(2) 課外活動

クラブ活動

- ・野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、バドミントン部、陸上部
- ダンス部・・・各種大会への出場
- ・電卓部・・・電卓スキルの向上、電卓大会への参加

6. 学生の生活支援

大原学園では学生一人ひとりが充実した学生生活を送れるように様々なサポートを行なっています。

(1) 完全担任制

完全担任制により出席管理、生活指導、進路指導を行っており、個人面談の機会を多く設け学校生活における様々な悩みを担任と共に解消していく環境を整えております。また、定期的なアンケートを実施して充実感、不安感などの把握にも務めています。

(2) 就職教育、

「幸せな就職」をテーマにして担任は学生の特性を引き出すための個人面談を継続的に実施します。その上で、求人紹介は担任が責任を持って行い、就職内定先とのミスマッチを最低限に抑えられるように取り組んでいます。

7. 学生納付金・修学支援

(1) 学生納付金

| 学科名 | 年次 | 納入日 | 入学金 | 授業料 | 教材費 | 実習・演習費 | 維持費 | 合計 | 年間計 |
|----------------------|-----|---------------|---------|---------|--------|--------|---------|---------|-----------|
| 高度情報技術科 システム工学科 | 1年次 | 前期：入学時 | 100,000 | 340,000 | 40,000 | 60,000 | 100,000 | 640,000 | 1,180,000 |
| | | 後期：2020年8月31日 | | 340,000 | 40,000 | 60,000 | 100,000 | 540,000 | |
| 情報処理科 グラフィックデザイン科 | 2年次 | 前期：2021年2月28日 | | 340,000 | 40,000 | 60,000 | 100,000 | 540,000 | 1,080,000 |
| | | 後期：2021年8月31日 | | 340,000 | 40,000 | 60,000 | 100,000 | 540,000 | |

※高度情報技術科、システム工学科の3年次、4年次の納入金は2年次納入金と同一金額です。

※上記のほか検定受験料（試験ごとに1,000円～15,000円程度）、学外研修費、その他諸費用（50,000円程度）が別途必要になります。

（2）奨学金、学費減免等

① 試験による特別奨学生制度

大原学園では、がんばる人を支援するために「試験による特別奨学生制度」を実施しています。この制度は、大原学園独自の特別奨学生試験の結果に応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。詳しいご紹介についてはHPで公開しております。

<https://www.o-hara.ac.jp/hokuriku/senmon/fukui/support/>

② 取得資格・クラブ活動による特別奨学生制度

大原学園では、がんばる人を支援するために「取得資格・クラブ活動による特別奨学生制度」を実施しています。この制度は、大原学園入学までに取得した資格や成績を一定のランクに認定し、そのランクに応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。詳しいご紹介についてはHPで公開しております。

<https://www.o-hara.ac.jp/hokuriku/senmon/fukui/support/>

③ 留学生を対象とした学費減免制度

高い目的意識を持って大原学園で学ぼうとする留学生を応援する制度です。一定の条件を満たした方は推薦制度を利用して学費の減免が受けられます。詳しいご紹介についてはHPで公開しております。

<https://www.o-hara.ac.jp/ryugaku/>

④ その他

国の教育ローン、日本学生支援機構の奨学金等の公共機関等の制度のご紹介も行っていますので、ご相談ください。

8. 学校の財務

HPで公開しております。

<https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf>

9. 学校評価

HPで公開しております。

<https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/>

10. 国際連携の状況

（1）留学生の受入

①入学手続き（資格・選考）について

（ア）日本語能力試験 N2レベルが出願資格になります。また、日本語での講義についていけるかどうかを確認するための面接試験を行います。

（イ）一定の条件を満たす方は留学生推薦制度による学費減免を利用することが出来ます。

②入学後の生活について

(ア) 日本での就職を目指して、日本語補講や各種資格取得を目指します。全ての学習内容について、担任がサポートを行います。

(イ) 様々な学校行事を通じて、日本人学生との交流が出来ます。また、日本文化に触れてもらうための課外授業や町内行事への参加も行います。

③卒業後の進路について

日本企業への就職だけではなく、大学、大学院への進学者もいます。

【学校情報の提供に関するお問い合わせ先】

大原学園では、本学園の情報提供指針に基づいて情報を公開しております。

<問合せ先>

学校法人 大原学園 大原テクノデザインアート専門学校

〒910-0005 福井県福井市大手 2 丁目 9 番 1 号 TEL0776-21-0001